

# 九州・アジア/中国ビジネス研究会

## 第65回研究会開催案内

**日時：** 平成24年6月22日(金) 18:30 — 20:30

**場所：** エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

**講師：** 近畿大学産業理工学部/世界経済研究所特任教授 西澤信善氏

略歴：1974年神戸大学大学院経済学研究科博士課程中途退学、同年アジア経済研究所（現日本貿易振興機構アジア経済研究所）に入所、1977～79年の2年間は在ビルマ日本大使館勤務。1983年から広島大学総合科学部教員、在職中89年からは在シンガポール・南東アジア研究所（ISEAS）客員研究員を兼任。1994年神戸大学大学院国際協力研究科教授に就任、1999年より2年はJICA専門家としてラオス国立大学に派遣。2004年から近畿大学経済学部教授に。世界経済研究所、産業理工学部教授を歴任後、本年4月より近畿大学特任教授（産業理工学部および世界経済研究所）に。編著書に『ミャンマーの経済改革と開放政策—軍政10年の総括—』、『東アジア経済と日本』、『ラオスの開発と国際協力』、『アジア経済論』、『東アジア経済の変容—通貨危機後10年の回顧—』などがあり、日本・ミャンマー協会理事も務める。飯塚市にある産業理工学部教授に就任の昨年4月以降は積極的に本研究会に出席いただいております、新たに発足した「近畿大学産業理工学部アジアビジネス研究会」の責任者として本研究会と連携。

**テーマ：** 「ミャンマーのビジネス環境はどう変わったのか」

### ～政治・経済そして国際関係～

長らく注目されることのなかったミャンマーが、今、国際社会の脚光を浴びている。民主化弾圧、人権抑圧と暗いニュースの続いたミャンマーであるが、昨年3月の民政移管以降、大方の予想に反して大胆な民主的改革に取り組んでいる。政治犯を釈放し、反政府の立場をとるスーチー派とも和解にこぎつけた。貧困削減にも取り組み、長年、発展のボトルネックとなっていた多重為替レート制にも着手し、実勢レート一本に統一した。欧米諸国並びに日本の政府は、一連のこれらの動きを評価して、制裁を緩和し援助の再開に踏み切ろうとしている。日本政府も延滞債務3000億円を免除し、1988年以来中断していた円借款の再開に踏み切った。民間企業も最後のフロンティアといわれるミャンマーに熱い視線を送っている。満を持していた日本企業は一斉にミャンマーに進出を始めている。本講演では、ミャンマーのビジネス環境がどう変化したのかを明らかにしたい。

会費：参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費1000円をお支払いください。

申込み先：(株) アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

九州・アジア/中国ビジネス研究会

主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会

共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会